

市民とまちづくりを29

市民参画協働ニュース

平成29年3月24日発行
編集：市民参画協働政策研究会
発行：自治振興室市民参画協働
担当（内線234）

■3月12日 長岡京防災街コン開催！

思いおこせば昨年の9月、協働ワーキングメンバーの『防災を若い人に知ってもらうには“街コン”形式にしては？』というアイデアから始まった、この企画。協働ワーキングを飛び出し、消防士さん、防災士さん、はじめ多くの市民の方々がメンバーに加わった実行委員会が誕生し、防災街コン開催に至りました。

当日は、男女40名の参加者が防災をテーマとしたゲームや缶詰を使った軽食、フリートークなどを楽しみ、交流を深めました。

実行委員長で協働ワーキングメンバーの原田翔さんは、朝日新聞の取材に『相手が非常時にどのような対応をするのかなど、本当に重要なことがわかる街コンになったのではないかと話し、主催者も手ごたえを感じられる取り組みとなりました。



ひとつの思いから生まれた小さな種は、色々なひとの手で育てられ、芽をだすことができました。これも私たちの協働のカタチ。その過程を体験できたことは、協働ワーキングメンバーにも大きな糧となったと思います。今後も協働をすすめるアイデア、チャレンジを考えていきたいと思います。



■とつげき！となりの市民協働

若葉カップ編 そして、集大成となる 事例集 を発行

しばらくぶりとなりましたが、第7回目となる、「とつげき！となりの市民協働」を発行しました。今回は、小学生バドミントンの甲子園「若葉カップ」取材しました。

平成28年で32回目を迎えた若葉カップは、多くの団体やボランティアに支えられて開催されており協働の主体や形態も複数にわたっています。

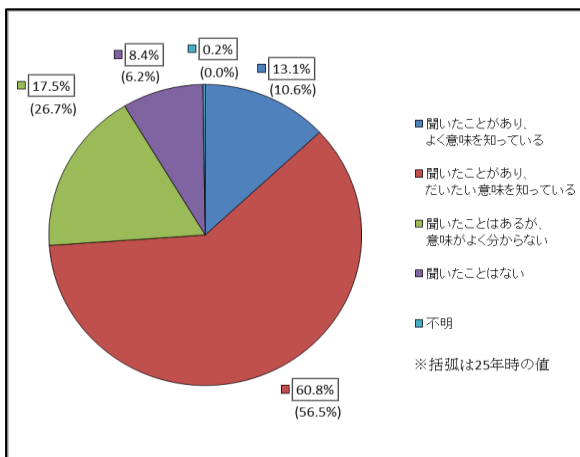
様々な人の思いが詰まっている若葉カップの事例を含め、これまで「とつげき！となりの市民協働」で紹介してきた事例を集めた事例集を発行します。事例集は市役所1階の市民情報コーナーでご覧いただけるほか、市ホームページでも公開いたします。ぜひ、ご覧ください。



■協働に関する職員アンケート結果報告について

平成27年1月12日～平成28年2月12日にかけて、職員（再任用及び嘱託職員は除く）を対象に協働に関するアンケートを実施させていただきました。

ご報告が遅くなっておりましたが、昨年10月に市ホームページに結果を公表しました。



★「協働」という言葉を聞いたことがありますか？

また意味を知っていますか？

上記設問についての回答状況は左表のとおりです。前回調査時（25年度）より意識向上はみられるものの「よく意味を知っている」は13.1%にとどまっています。また、市民活動団体等との協働の経験の有無を尋ねたところ、41.6%の職員が「協働した経験がある」と回答しており、25年度比で4.6%増加しました。一方、40.9%の職員が「協働した経験がない」と回答しており、厳しい結果となっています。

☆インフォメーション

○協働アンケートの詳細は、市ホームページから閲覧可能です！

市政情報→市民参画・協働→協働ワーキング→市民協働についての市職員アンケート一覧

*協働に対する疑問・提案・思いなどは、お気軽に下記までお寄せください。

メールアドレス： jichishinkou@city.nagaokakyo.lg.jp